

MS343-60006/7 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MS343-60006-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ランドクルーザープラド '21.6~	
MS343-60006-C0	ブラック(202)		
MS343-60007-NP	未塗装品		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

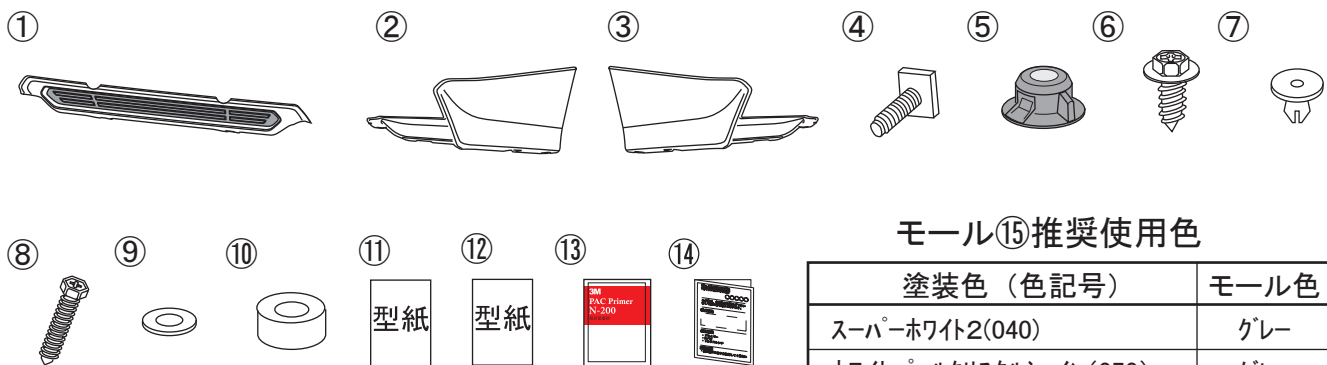
No.	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	リヤサイドスパッツ RH	1	
③	リヤサイドスパッツ LH	1	
④	スクエアヘッドボルト	2	6×15
⑤	クリップナット	2	
⑥	タッピングスクリュー	2	6×16
⑦	グロメット	2	
⑧	タッピングスクリュー	2	6×30
⑨	ワッシャー	2	t=1 内径6 外形13
⑩	ワッシャー	2	t=8 内径8 外形20
⑪	型紙	1	A4シール
⑫	型紙	1	A5
⑬	PAC プライマー	1	N-200
⑭	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS343-60007-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑮	モール	各2	黒 / グレー L=1575 イ型
⑯	モール	2	黒 L=500 ヨ型
⑰	モール	1	黒 L=800 L型

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS343-60007-NP（未塗装品セット）のみに同梱



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取付上のご注意（取付業者の方へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 4
4. 取付準備、取付要領 5～12
5. 取付完了後の点検・注意事項 13

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/7.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ ホホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

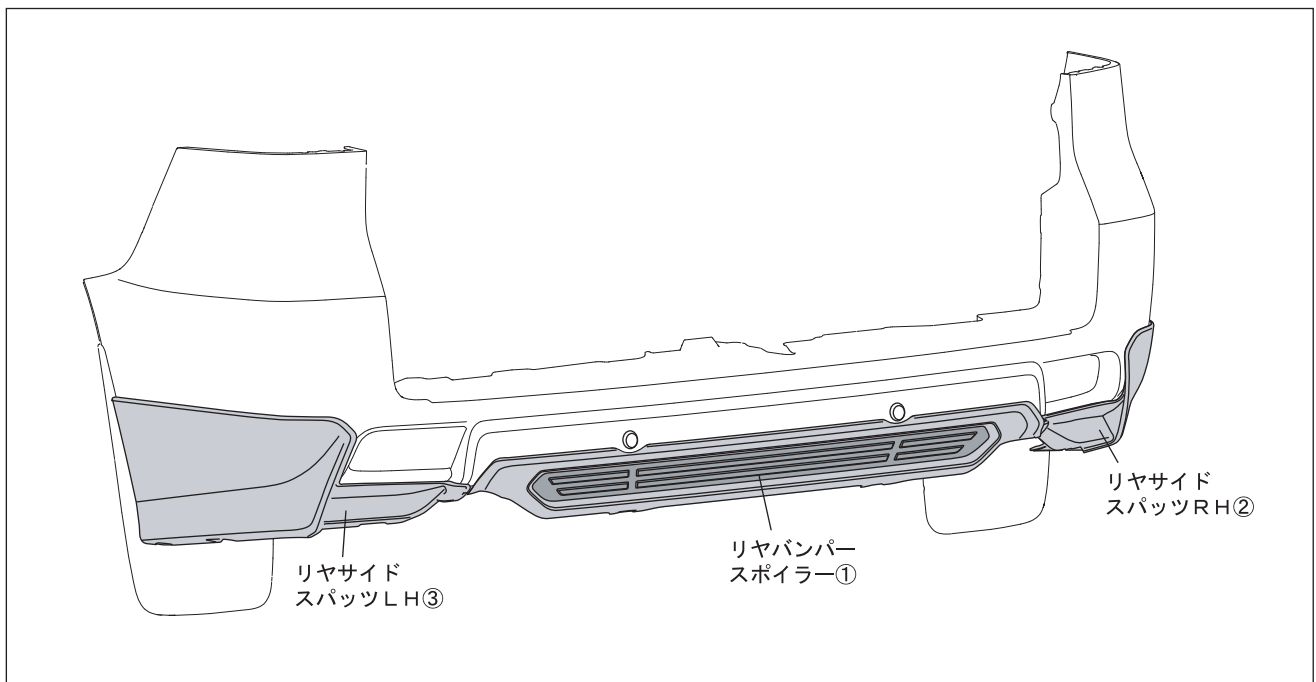
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



塗装済み品の取付けは、7ページ【リヤバンパーポイラー取付準備】に進み作業を行なってください。

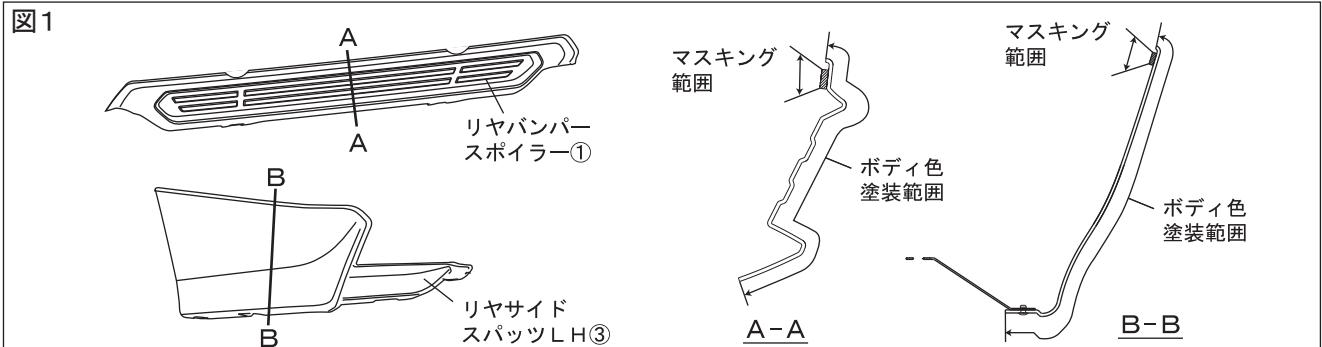
■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS343-60007-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

ロリヤバンパースポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤバンパーポイラー①、リヤサイドスパッツ LH③を車両色で塗装する。

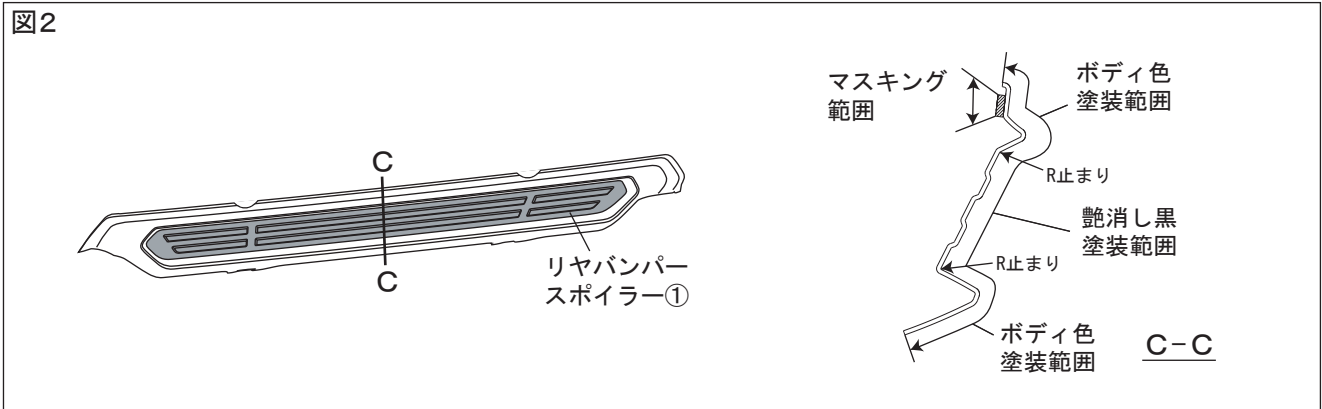


△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

2. 図2のようにリヤバンパースポイラー①に艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。



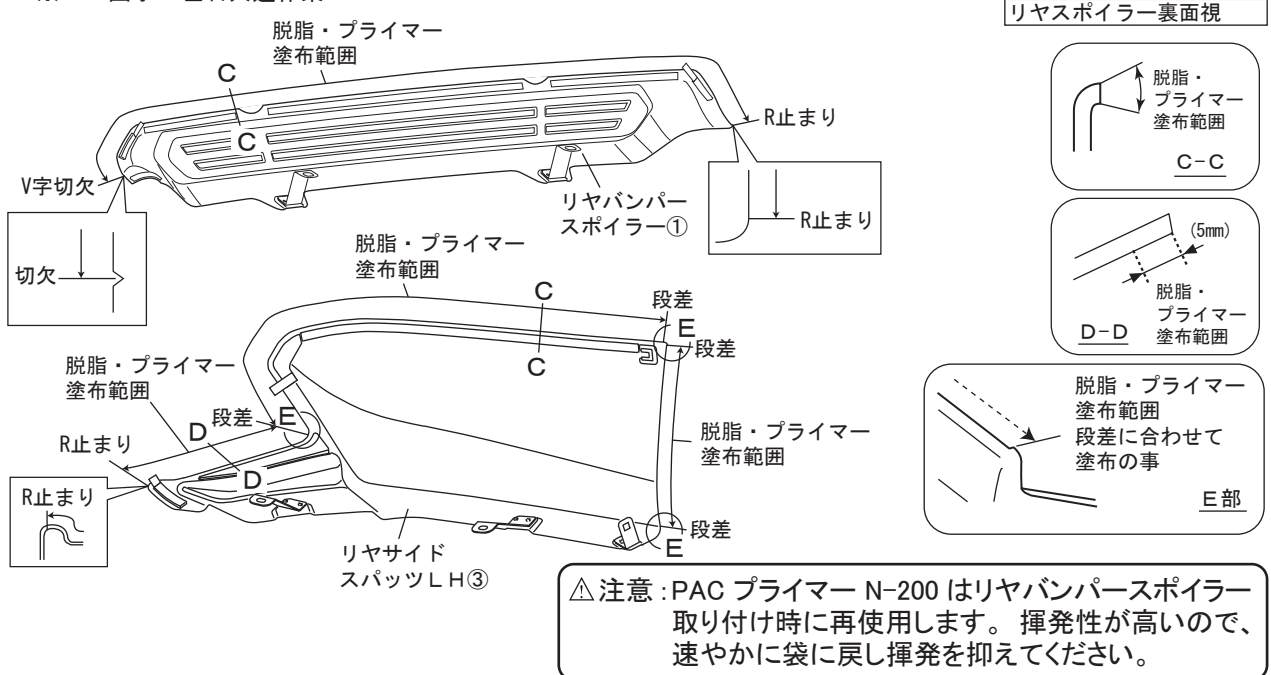
□モールの貼付け

1. 図3のようにモール⑮～⑰貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー⑬を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

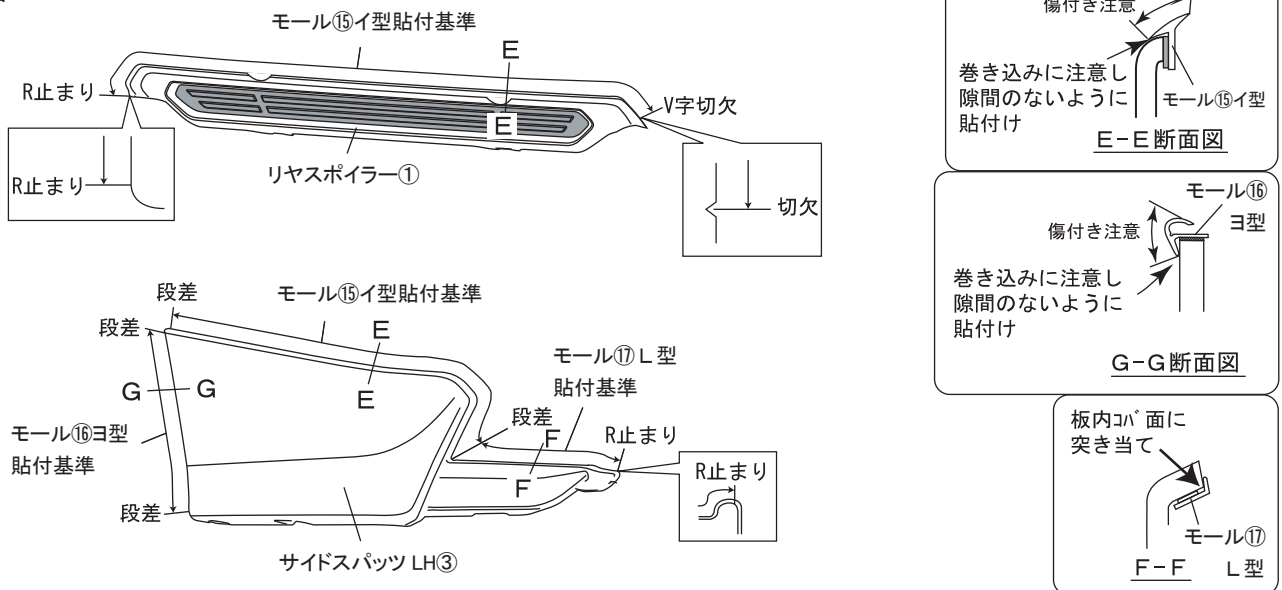
図3 ※LH図示 左右共通作業



△注意：PAC プライマー N-200 はリヤバンパースポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 図4のようにリヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツLH③にモール⑮～⑰の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図4



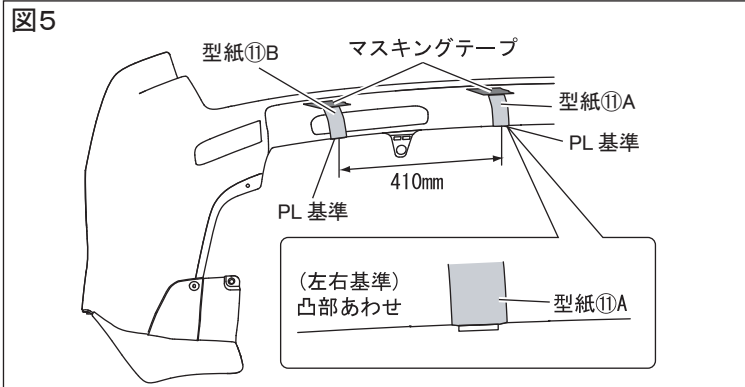
△注意：モール⑮は、2色同梱されています。塗装色合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

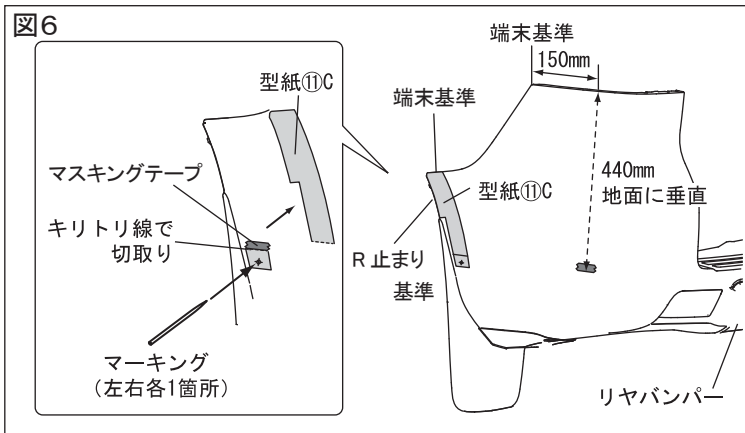
■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

ロリヤバンパースポイラー取付準備



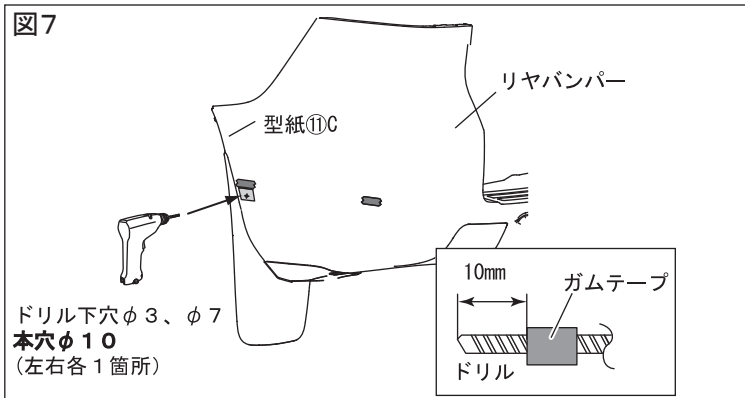
1. 図5のように型紙①A、Bをリヤバンパー下面に貼付け、製品取付高さ位置にマスキングテープ等を貼付け、型紙をはがす。
(中央1箇所、左右各1箇所)



2. 図6のように型紙①Cを、リヤバンパーに貼付けマーキングし、型紙①Cの下側を残してキリトリ線で切取る。
(左右各1箇所)

3. 図6のように製品取付高さ位置にマスキングテープ等を貼付ける。
(左右各1箇所)

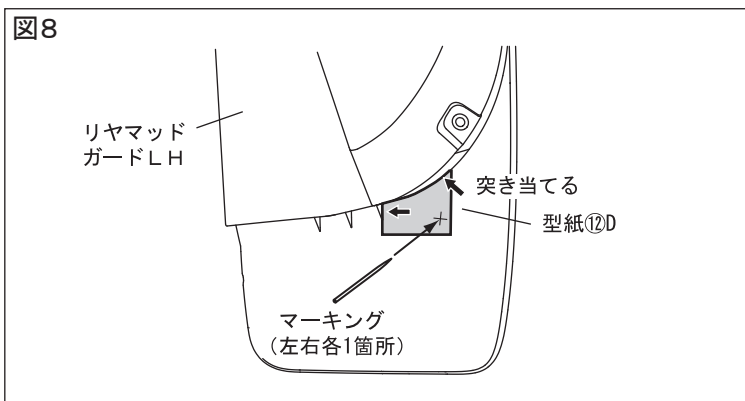
4. 図7のようにΦ3、Φ7、Φ10のドリルの先端にストッパーになるようなガムテープを巻きつけ、Φ3、Φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(左右各1箇所)



5. 図7のようにΦ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを除去し、型紙①Cをはがす。
(左右各1箇所)

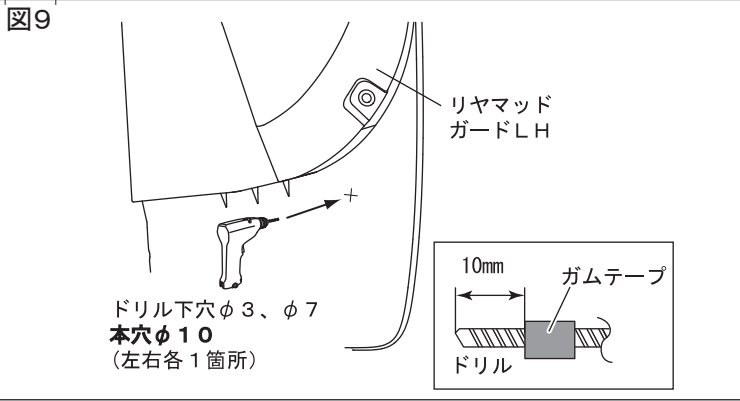
👉 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。



6. 該当車両の修理書に従い、リヤマッドガードを取外す。

7. 図8のように型紙①Dを切り取り、リアマッドガードに貼付けマーキングする。
(左右各1箇所)

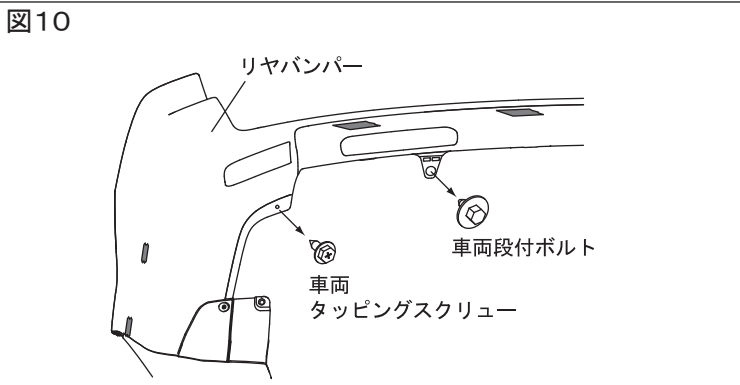


8. 図9のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようなガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(左右各1箇所)

9. 図9のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを除去する。
(左右各1箇所)

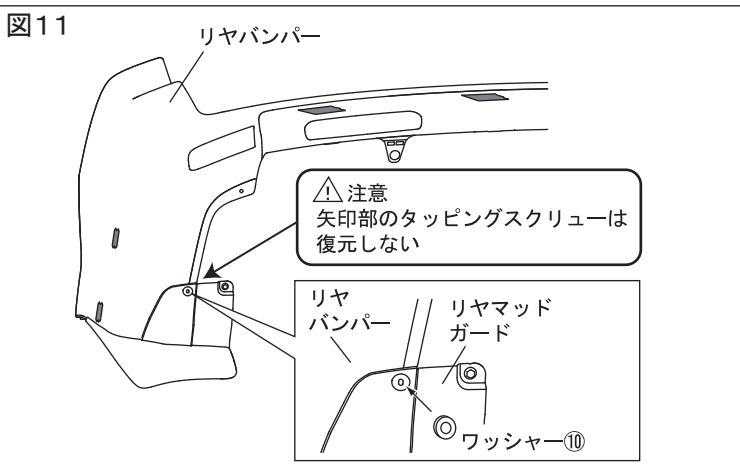
📢 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。



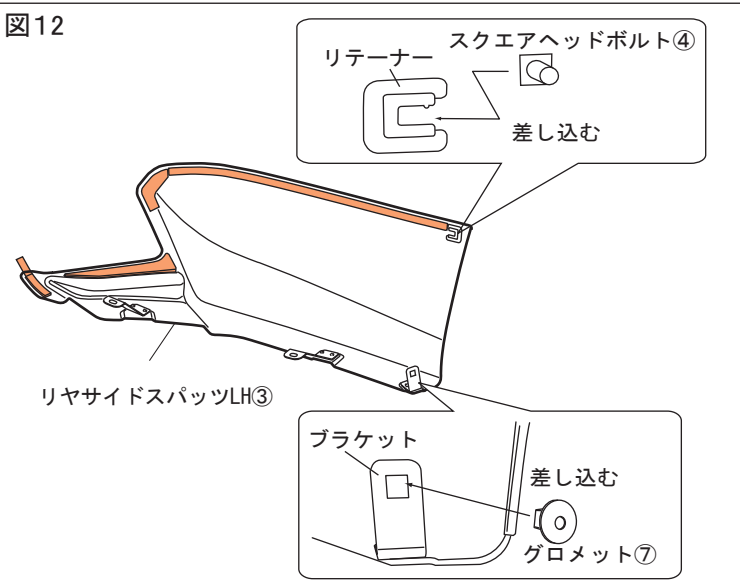
10. 図10のようにリヤバンパーから車両タッピングスクリューと車両段付ボルトを取外す。
(左右各1箇所)

⚠️ 注意：取外した車両タッピングスクリューと車両段付ボルトは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



11. 該当車両の修理書に従い、リヤマッドガードを車両に戻す。図11のように、下面のタッピングスクリューは復元しない。
(左右各1箇所)

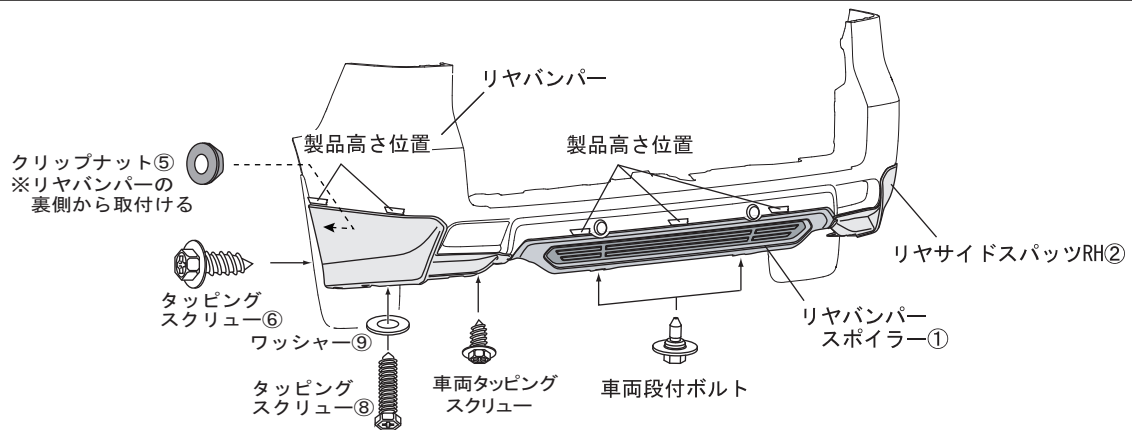
12. 図11のようにリヤマッドガードにワッシャー⑩を貼付ける。タッピングスクリューは復元しない。
(左右各1箇所)



13. 図12の拡大図のようにリヤサイドスパッツ LH ③ についているブラケットにグロメット⑦を差し込む。
(左右各1箇所)

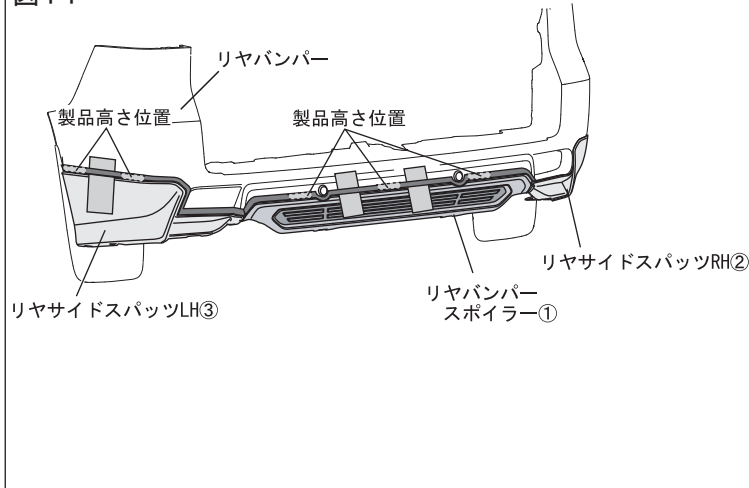
14. 図12の拡大図のようにリヤサイドスパッツ LH ③ に付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルト④を差し込む。
(左右各1箇所)

図13



15. 図13のように製品高さ位置に合わせてリヤバンパーにリヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツ LH③をかぶせる。
16. 図13のようにリヤサイドスパッツ LH③を車両タッピングスクリューとタッピングスクリュー⑥とワッシャー⑨を挟んだタッピングスクリュー⑧で仮締めをする。 (左右各3箇所)
17. 図13のようにリヤサイドスパッツ LH③をクリップナット⑤で仮締めをする。 (左右各1箇所)
18. 図13のようにリヤバンパースポイラー①を車両段付ボルトで仮締めをする。 (左右各1箇所)

図14

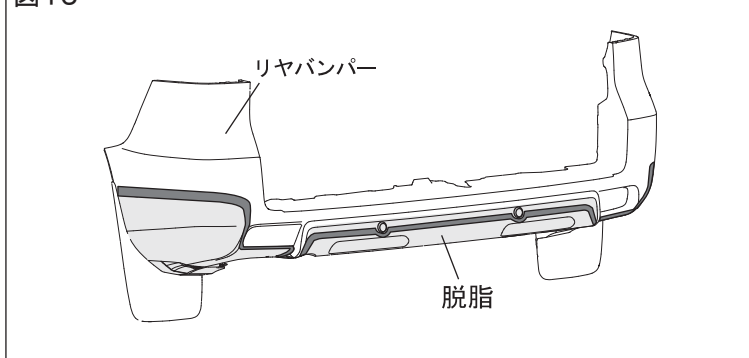


19. 図14のように取付け高さ位置に合わせてリヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツ RH②、リヤサイドスパッツ LH③を養生テープなどで固定する。
20. 図14のようにの端末(モール貼付け部はモール上部)に合わせてリヤバンパーにマスキングテープを貼付ける。

△注意: PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

21. リヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツ LH③を取り外す。

図15

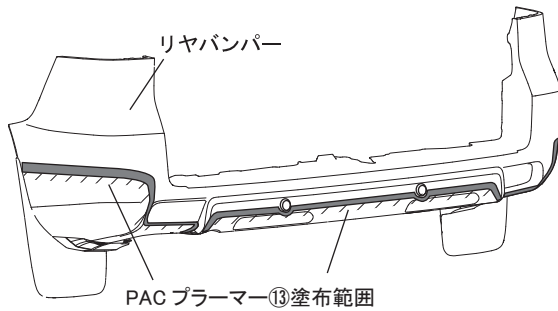


22. リヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツ RH②、リヤサイドスパッツ LH③の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向的に拭いて脱脂する。

△注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス: 脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

図16

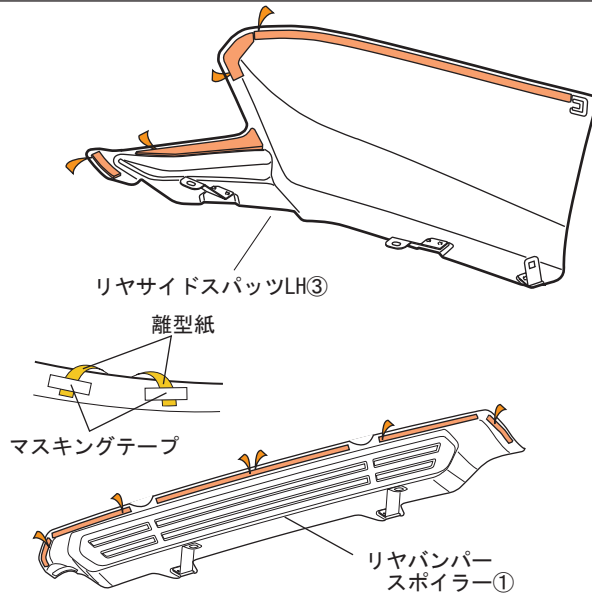


23. 図16のようにリヤバンパースポイラー①、リヤサイドスパッツ RH②、リヤサイドスパッツ LH③の両面テープ貼付け部（左図斜線部）に PAC プライマー⑬を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますのでご注意ください。

24. 取付け高さ位置を剥がさないようにマスキングテープを剥がす。

図17



25. 図17のようにリヤサイドスパッツ LH③の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各4箇所)

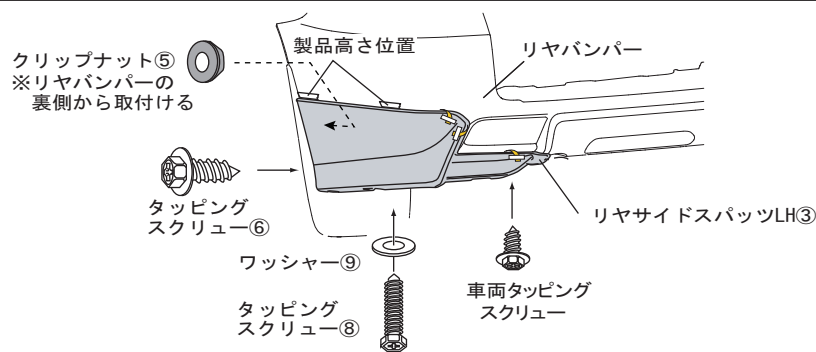
26. 図17のようにリヤバンパースポイラー①の離型紙を中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表面に貼付ける。
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

□取付要領

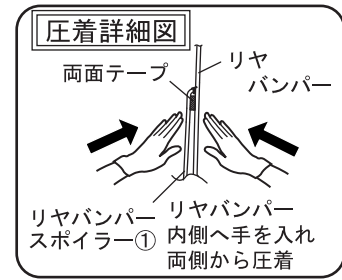
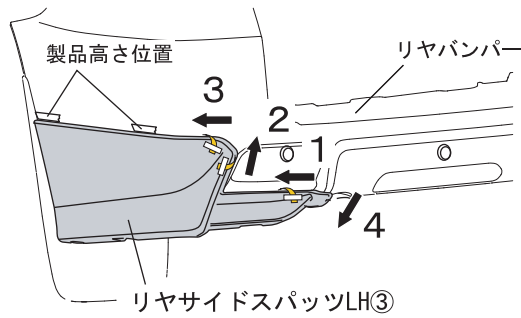
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図18



- 図18のように製品高さ位置に合わせてリヤバンパーにリヤサイドスパッツ LH③をかぶせる。
- 図18のようにリヤサイドスパッツ LH③を車両タッピングスクリューとタッピングスクリュー⑥とワッシャー⑨を挟んだタッピングスクリュー⑧で仮締めをする。
(左右各3箇所)
- 図18のようにクリップナット⑤で仮締めをする。
(左右各1箇所)

図19



4. 図19のようにリヤサイドスパッツ LH③のバンパーとの間に、左右のズレ、隙がないか確認し、両面テープの離形紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
[49N (5kgf) 以上]
(左右各5箇所)

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離形紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

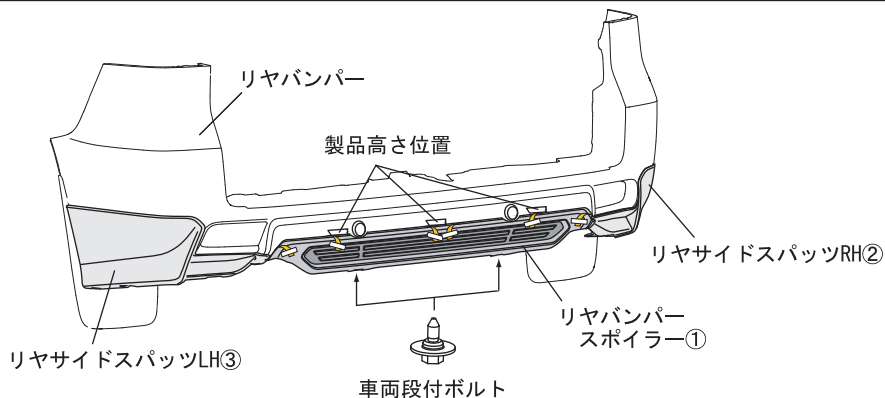
△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれの発生するおそれがあります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間ほど必要です。最短3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

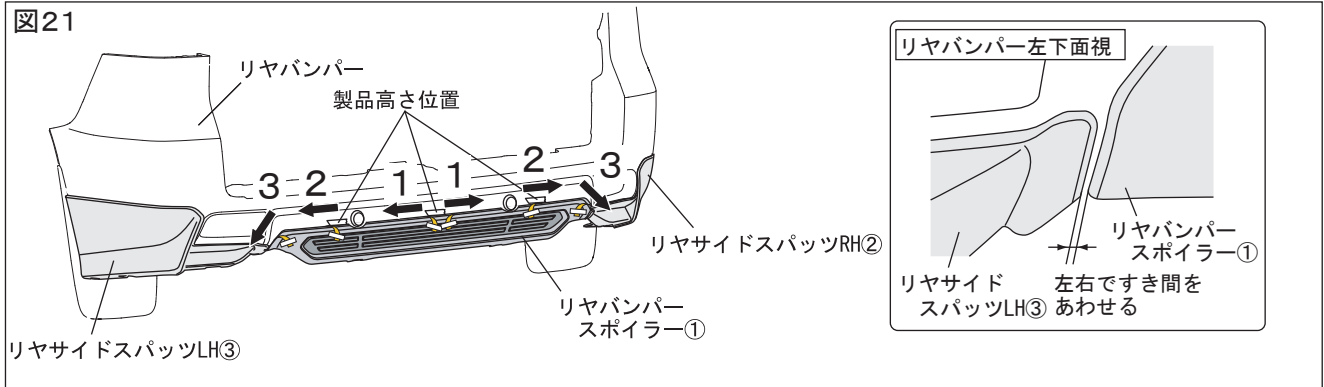
5. リヤサイドスパッツ LH③の製品高さ位置のマスキングテープを剥がす。
6. リヤサイドスパッツ LH③を車両タッピングスクリュー、タッピングスクリュー⑥、タッピングスクリュー⑧を本締めする。
(左右各3箇所)
7. クリップナット⑤を本締めする。
(左右各1箇所)

図20



8. 図20のように製品高さ位置に合わせてリヤバンパーにリヤバンパースポイラー①をかぶせる。
9. 図20のようにリヤバンパースポイラー①を車両段付ボルトで仮締めをする。
(左右各1箇所)

図21



10. 図21のようにリアバンパースポイラー①とリアサイドスパッツ RH②リアサイドスパッツ LH③との左右のすき間を均一にし、バンパーとの間に、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離形紙を順番に剥がしながら貼付け圧着する。
[49N (5kgf) 以上] (左右各3箇所)

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

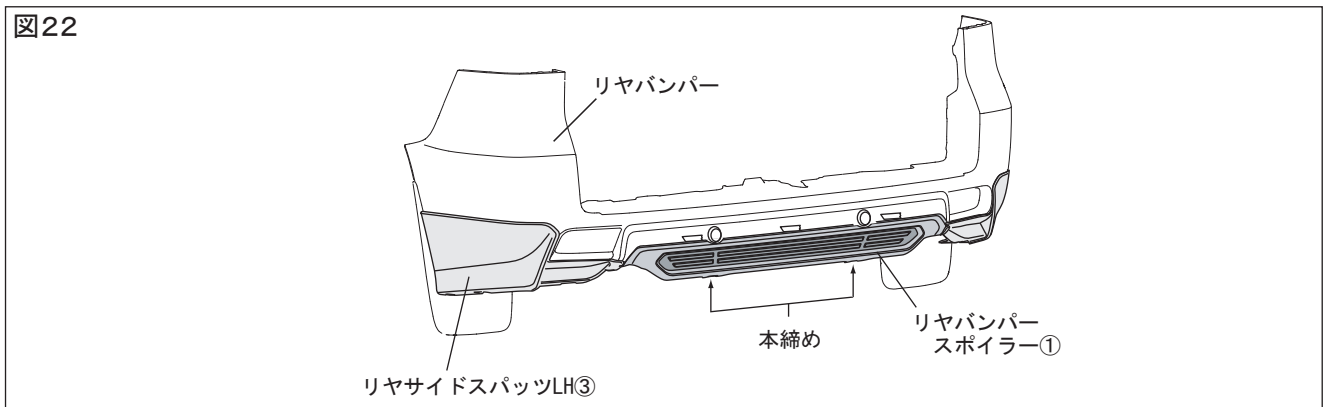
△注意：両面テープの離形紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれの発生するおそれがあります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間ほど必要です。最短3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

図22



11. リアバンパースポイラー①の高さ位置のマスキングテープを剥がす。
12. リアバンパースポイラー①を車両段付ボルトで本締めする。 (左右各1箇所)

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがタッピングスクリュー、クリップナットにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパー及び車両部品に傷等がないことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれ無い事を確認する。
4. 作業完了後、車両修理書に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>